

福岡県志免町議会

GIKAI

しめ議会だより 6月定例会

特集

志免町議と 語る会

町民の声から、志免町の未来を考える。

FEATURE

議会改革の軌跡

～開かれた議会、身近な議会をめざして～

No.117

2026

8.1

発行

特集テーマ 志免町議会について

8名の議員がズバリ町政を問う!

委員会活動レポート

議会改革視察報告

政務活動費報告

いいね! 志免町(シルバー人材センター)

町民とつくる、開かれた議会へ。

面白くできる

会を目指して 語る会を開催

委員会の3年間の取組を説明し、
形式で話し合いを行いました

いただきました

開かれた議会になっていると思う

仕組みを明確に

SNSの
積極的な活用

議員報酬は
適正なのか

議員と
触れ合える
機会を増やして

どうしたら
立候補しやすくなるの

シニア世代の
政策を期待する



町民の方によるグループ発表



議員自己紹介

総務文教常任委員会の 取組み・調査事項

- ◆ オンデマンドバスの導入について
- ◆ 学童保育所の現状と課題について
- ◆ 小中学校の生徒数について
- ◆ 小中学校の給食の現況について
- ◆ いじめ及び不登校対応について
- ◆ 第2期志免町教育振興基本計画及び評価報告書について
- ◆ 志免町の魅力発信について
(まちの観光及びブランディング)
- ◆ 竪坑櫓の歴史資料としての価値の
検証と継承について
- ◆ 図書館の現状と課題について
視察研修 佐賀県武雄市図書館
- ◆ 未就園児の子育て支援について
(誰でも通園制度を含む)
視察研修 神奈川県大和市つどいの広場
事業「こどもーる」
- ◆ ふるさと納税について
- ◆ 特別支援学級の現状と課題について
視察研修 東京都豊島区要小学校の
インクルーシブ教育
- ◆ スポーツフェスタ、文化祭の成果と
課題について
- ◆ 竪坑櫓について
VR(バーチャル・リアリティ/
仮想現実)も完成！
竪坑櫓の活用 提言書を提出する予定

- 学校体育館エアコン設置に関する
提言書を提出



第16回
4月18日
(土)

今回のテーマ

志免町議会について

≧ 65名参加 ≦

開かれた議

志免町議と

総務文教常任委員会と厚生建設常任
グループごとにワークショップ

貴重なご意見を

厚生建設常任委員会の 取組み・調査事項

- 介護予防と生活支援
- 健康長寿の取組
視察研修 沖縄県北中城村
- 地球温暖化対策
- 公園活用
- シーメイトのレストランの活用
- 道路の危険箇所
- 地域防災
- 生活支援の現状と実態について
視察研修 志免町社会福祉協議会
- 都市計画について
視察研修 沖縄県北谷町
- ファミリー農園の現状と
今後の在り方について
- ゼロカーボンの現状と展望について
- 下水道整備状況及び
水洗化率について
視察研修 多々良川浄化センター
- 防犯灯等の現状と課題について
- 志免町内の道路について

- 健康寿命延伸への取組の
提言書を提出
- 志免町における防犯灯の維持管理
に関する提言書を提出

電子投票で投票率アップを

町民の声を届ける



町民の方によるグループ発表

議員の
社会保障を整備し
安心して
活動できる環境を

議員定数を増やすことも
必要なのは



町民の方によるグループ発表

ケート結果

未回答あり



65名

参加

ご参加ありがとうございました！



80%

議会に関心あり

関心がある・少しあると回答



13%

議員になりたい

とても思う・少し思うと回答

議会への期待・課題

議会に力を入れてほしい分野

- 高齢福祉 32名
- 子育て・教育 31名
- インフラ整備 31名
- 防災・安全 24名
- 情報発信 20名
- 議会改革 16名
- 地域経済・雇用 15名

議会に足りないところ

- 議員の政策力
- もう少し町民にアピール
- 地域経済活性化
- 若さ・若い発想
- 個人のSNSでアピールをする
- 町内行事への参加をしてほしい
- 発信力が不足している

議員のなり手について

議員になりたいですか

- あまり思わない 14名
- 機会があればやりたい 6名
- ぜひやりたい 2名

議員になりたいと思わない理由は

- 仕事や家庭との両立が難しそう 18名
- 責任が重い 16名
- 選挙のハードルが高い 15名
- 収入が不安定・少ない 12名
- 活動内容がわからない 8名
- 人間関係やしがらみ 7名
- 興味がない 6名

どのような環境であれば議員に挑戦しやすいですか

- 報酬の見直し 30名
- 仕事との両立 22名
- 議員活動の見える化 12名
- 子育て支援 7名
- 制度見直し 7名
- 研修支援 4名

自由意見

- 町民との交流を促進するためにこのような会を持つことは有意義と思う
- 議員数の少ない中、よく活動されていると思います
- 身近の住民に対してこまめに接して欲しい
- とても良い意見交換会でした。スライド紙資料を配布されていれば良いと思いました
- 議員活動の見える化をしてもらいたい。若い世代へアピール
- とても勉強になりました
- 何事も迅速に処理・解決を図る
- 町民の意見吸い上げに頑張ってください



力に、
・信頼される
てまいります。



志免町議と語る会

アン

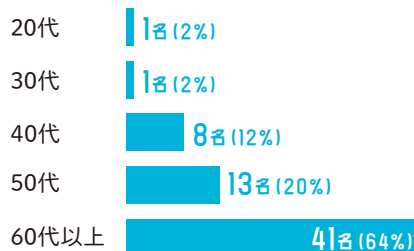
65名の声から見た 議会への期待

4月18日(土)に開催した「志免町議と語る会」

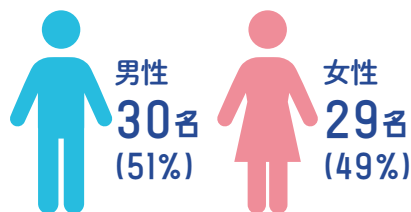
年代や性別を問わず、たくさんの方にご参加いただき、貴重なご意見・ご提案をいただきました
ここに皆さまの声をまとめてご報告します

1 ご回答者について

年代

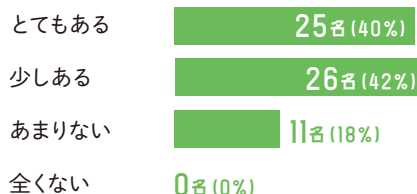


性別

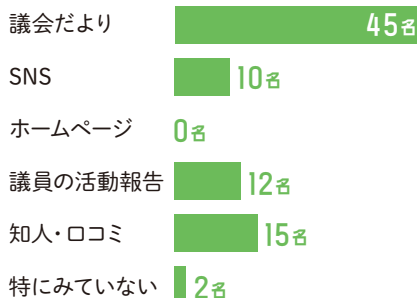


2 議会の関心・認知度

Q 議会に関心ありますか

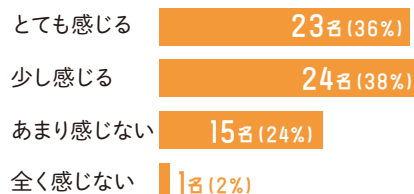


Q 議会の情報はどこで知りましたか (複数回答)

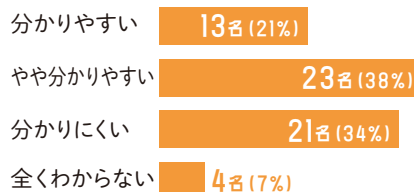


3 議会の見え方・評価

Q 志免町議会は身近に感じますか

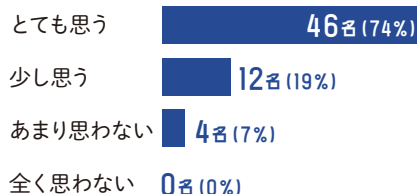


Q 議会の活動は分かりやすいか

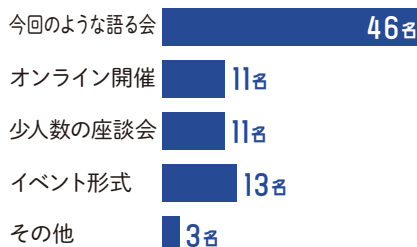


4 参加と関わりについて

Q 議会や議員との関わりは必要か



Q 今後どのような形なら 参加しやすいか (複数回答)



皆さまの声
ありがとうございました



皆さまのご意見は、今後の
議会活動・広報活動の改善に
活かしてまいります。



皆さまの声を
開かれた議会
議会を目指し



議会改革の軌跡

3年間の取り組み

志免を「もっと便利に」要望書提出



服部県知事



福岡市議会

「猛暑から子ども達を守る」
体育館エアコン設置への提言



議会から町長へ

開かれた議会を目指して
議場に触れる機会を



議場コンサート

子ども達が「志免町」に触れた
特別な1日



議員模擬体験

3年間の取り組みを
映像にまとめました



SCAN
ME!

こちらのQRコードから
見れます。

高校を飛び出し、
次世代の情熱が議場へ



もっともっと
開かれた議会を目指して



志免の未来を担う「声」と
本気で向き合う



これからの取り組み

政策提言する議会へ

調査・研究や議員間討議を充実させ政策提言機能を強化する

通年議会の導入検討

緊急時や行政課題に迅速に対応できる通年議会の導入を研究する

広聴機能の強化

意見交換やイベントを通じて町民の声を議会活動に反映する

議会広報・情報発信の充実

広報ツールやSNSを活用し、議会活動の情報発信を充実させる

議員のなり手確保

若い世代が立候補しやすい環境づくりと、議員報酬のあり方を研究する



6月 定例会

6月定例会は、5日から12日までの8日間の会期で開かれました
議案2件を可決
人事案件12件(農業委員会委員12名)に同意しました
一般質問は6月8日・9日の2日間で8名が行いました



予算常任委員会は、6月10日・11日の2日間に集中審議し、予算を可決しました。

令和8年度 一般会計補正予算

1,233万円増↑ 総額 **190億8,033万円**

全員賛成
可決

町のお金どうなった?? (主なものを掲載) ✂

● 道路陥没の原因解明調査

片峰1丁目地区既設管路調査業務委託料 **306万円増↑**
令和8年3月に発生した道路陥没の原因解明調査と既設管閉塞設計を行うもの

● 今年は南里3町内会に決定

コミュニティ助成事業 **110万円増↑**
宝くじの社会貢献広報事業の一環として地域に密着して活動する団体等に対して助成を行うもの

議員 対象団体に制度の周知は、徹底されているのか

答弁 まちの魅力推進課が、責任を持って周知・運用に努める

議員 申請手続きが、難しいのではないかな

答弁 担当課が、しっかり相談・支援を行う

債務負担行為

学童保育を、町内4小学校・15支援単位で実施

● 学童保育事業業務委託料 **7億4,213万円**
令和9年度(R9.4.1~)の運営を行うにあたり、今年度に契約が必要であるため

議員 現在一括して発注しているが、学校ごとなど、分割発注することで、地域の中小事業者も参入しやすくなるのでは

答弁 一括発注によるスケールメリットや人員配置を含む、サービス提供体制等総合的にみて、選択している

ひとくちメモ 債務負担行為とは…事業が複数年度に渡る場合に予算の先取りを行う行為

志免町税条例の改正 …専決処分…

特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の適用期間の延長

セルフメディケーション税制の適用期間の延長 (R9.1.1施行)

〔現行〕平成30年度から令和9年度

〔改正〕平成30年度以後

住宅借入金等特別税額控除の適応期間の延長 (R9.1.1施行)

住宅ローン控除の適応期間の延長

〔現行〕平成22年度から令和20年度まで

〔改正〕平成22年度から令和25年度まで

固定資産税の免税点の見直し (R9.4.1施行)

物価指数の上昇を踏まえ、固定資産税の免税点の引き上げ
(令和9年1月1日以降を基準日とする固定資産税から適用)

	(改正前)	(改正後)
土地	30万円	30万円(改正なし)
家屋	20万円	30万円
償却資産	150万円	180万円

ひとくちメモ 専決処分とは…町議会を開催する時間的余裕がないため、町長が議会で代わって決めること。

セルフメディケーション税制とは…対象の市販薬(スイッチOTC医薬品)を年間1万2千円以上購入した場合に、所得控除が受けられる医療費控除の特例。

免税点とは…同一名義人が所有する土地・家屋・償却資産について、課税標準額の合計が一定の額に満たない場合は、固定資産税を課税しない金額。

全員賛成
可決





こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 スマホやインターネットなどネットメディアの長時間利用によって、子どもの睡眠時間の減少が指摘されるが、町として子どもの発達段階に応じたネットメディア依存対策は行っているか。

答 ネットメディア依存に特化した取組は実施していないが、各学校において生徒指導や健康に関する指導の中で、年間を通じて児童生徒の発達段階に応じた

われている。町が作成した学習の手引きにおいて、保護者への啓発を行っている。

問 堺市では、不登校と睡眠不足が関連付けられることが調査で分か

り、中学校で「みんいく」を導入。不登校が5年間で半減。春日市でも同様に不登校児童生徒数が減少。志免町としても「みんいく」を推進していく必要があるのではないか。

今後の地域防災力の 方向性は 町長 防災士の方と町の 連携を進める

問 先日、日本防災士会福岡県支部と志免町が連携協定を締結した。地域防災を進めるうえで意義ある取組であり、今後の防災力向上につながるかと期待している。今後、

答 資格者数は現在36名。活動状況は把握していない。

問 地域住民、町内会、学校、防災士など地域全体で防災力を高める必要があるが、どのような連携体制を構築していくのか。

答 防災士の資格を持った方が地域に入り込んでタッグを組む、そして防災士の方と町の連携を進めていくことが大事である。

8P-9P

小森 弘美 議員

- ① 「みんいく」の推進が必要なのでは
- ② 今後の地域防災力の方向性は

丸山 真智子 議員

- ① 孤立させない見守り体制の課題
- ② プレーワーカーの育成予算化を

10P-11P

藤瀬 康司 議員

- ① 校区単位コミュニティが必要
- ② 電子回覧板の導入を

安河内 祐子 議員

- ① なぜ男女共同参画推進が必要か

稲永 義美 議員

- ① 高齢者支援のさらなる充実を
- ② 子どもが安全に移動できる町へ

12P-13P

牟田口 武史 議員

- ① 外国籍の子ども達の教育環境は
- ② 運動が苦手な子どもへの支援は

岩下 多絵 議員

- ① 市内の国際交流事業積極活用を

稲永 隆義 議員

- ① 総合計画を議会と町民で共有を

- 一般質問とは議員が町政全般(一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など)について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で*1問1答で行います。

※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

- 会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録(HP・図書館・各公民館に置く)をご参照ください。掲載は質問順としています。

ズバリ

町政を問う！



孤立させない 見守り体制の課題

町長 町内会、民生委員
と連携を図る

まるやま
真智子
議員



この日から
一般質問の
動画が視聴
できます



答 同意された人数は、70歳以上単身の方が1379人、75歳以上のみの方は1005人。町内会で地域の実情に応じて様々な

問 70歳以上の独居世帯や75歳以上高齢者のみの世帯で、見守り同意者数は、見守りは誰がするのか。

答 定員50名、4名欠員で、不在地域は、福祉課が中心となり対応を行っている。70歳以上全員の名簿を配っている。

問 地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関と繋ぐパイプ役を務める、厚生労働大臣から委嘱された民生・児童委員の充足率は、足りない場合のカバーはどうしているのか。また、どんな名簿を持っているのか。



ご存知ですか？ 民生委員・児童委員を

答 登録者数は191人。台帳の配布先は町内会長と民生・児童委員。活用できているかまでは把握できていない。

問 災害時の避難行動要支援者の登録人数と台帳の配布先。また台帳を活用した支援はできているか。

見守り活動を行っている。

問 志免町でも子育てコミュニティの方たちが、ボランティアで頑張っている。活動を続けていくためには人材育成が急務。養成講座を行い、活動費が出せないのか。

答 自分たちで自由に遊べる場所の提供は必要だと思う。

問 子どもの権利条約第31条には、休むことだけでなく、遊ぶことも子どもの権利と書いてある。自分の責任で遊ぶのがモットーのプレパークが、生きる力を育む遊び場として全国に広がっている。必要性についての考えは。

町長 先進地の事業を参考に努めたい

プレパークの育成
予算化を

問 志免町では、防災士資格取得者数や活動状況を把握しているか。

答 日本防災士会福岡県支部との協定により、地域防災力アップ事業を行う。防災士が、自主防災組織に入り込み、防災力アップにつなげていく。まずはこの事業を町内会長会議でも周知する。



プレパーク(平成の森公園)

その他の質問
・子どもの最善の利益を考えた
保育所等訪問支援について

答 先進地を参考にすることは、大事。調査研究し、取組みが進むよう努めたい。

「みんなく」の推進が 必要なのは

町長 睡眠の大切さを普及
していきたい



堺市「みんなく」のチラシ
(出典 堺市ホームページ)

指導を実施。中学校においては、生徒会が中心となった取組も行う。

答 子どもたちの生活習慣づくりの重要性について継続的な取組を行っている。保護者に睡眠の大切さを普及していく。

ひとくちメモ 「みんなく」とは睡眠の仕組みや眠りが心と体と与える力について学び、正しい睡眠教育を身につけるための教育が睡眠教育といい、略して「みんなく」という。



日本防災士会福岡県支部と志免町の調印式



やすこうち ゆうこ
安河内 祐子 議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



校区単位
コミュニティが必要

町長 今後必ず必要
になる

ふじせ やすし
藤瀬 康司 議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 第6次志免町総合計画も今年度より後期に入り、新たに男女共同参画行動計画が策定された。固定的性別役割分担意識の町民調査結果は。

答 男は仕事、女は家庭という考え方に依然として3割が同感。

問 男女の地位の平等感の認識は。

答 特に政治の場で約8割、職業

問 全国的に少子・高齢化や人口減少など町内会の加入率低下や役員の高齢化、担い手不足などが課題となっており、これまで地域活動を支えてきた仕組みの維持が難しくなっている。町として、高齢化や担い手不足の状況についてどのように認識しているか。

答 町内会、役員の高齢化や担い手不足は町として、重要な課題であると認識をしている。地域活動への参加者が減少して、また特定の方に役員負担が集中するような状況が見られる。町としては、町内会業務の簡素化や行政による支援体制の見直しを進めている。

問 町内会加入率が低下しており10年後、20年後に、この状況がずっと継続されていくことに危惧はないのか。

幼児期教育の充実した取組みは。

答 性別での色分けや順番、呼名、区別や決めつけをしない等の配慮。

問 学校教育における取組みは。

答 小学校高学年の社会や、中学三年生の社会科公民分野で、男女共同参画の理念を意識した教育を歴史背景や、日本国憲法の平等の原則をもとに継続的に学んでいる。



志免南小学校の「南っこ町内会」

答 加入率の減少は今後大きな課題である。将来どのようにになるのかという心配もしている。

問 これからも持続可能な地域コミュニティを維持していくためには、町内会を支える仕組みとして校区単位コミュニティの形成が必要だと考える。その中で若者参画

問 男女共同参画の視点に立った災害対策の取組みは。

答 志免町防災会議の委員に女性職員を優先している。その他避難所での更衣室、授乳室等の確保や、色々な視点に特化した備蓄品の拡充等行っている。

問 自助、共助、公助による役割分担と、それぞれの特性を生かして動くことが大事。福岡市や他の自

町長 非常にハードルが高い

問 回覧板は地域コミュニティにおける重要な情報伝達手段であり、町も積極的に活用されている。その配布は町内会役員の負担も



電子回覧板
(デジ町 町内会HPから引用)

電子回覧板の導入を

問 回覧板は地域コミュニティにおける重要な情報伝達手段であり、町も積極的に活用されている。その配布は町内会役員の負担も

答 今の時点では非常にハードルが高い。

問 役員負担軽減だけでなく若者層や情報発信に有効な電子回覧板を導入しては。

答 敬老会の校区化及び世代間交流型への転換について

が重要。まずは1つの校区をモデル地区として、校区単位のコミュニティの形成について実証的な取組を行い、効果や課題を検証しては。

問 小学校単位のコミュニティは、今は難しい。

大きくなっているのではないかと。困難だとか、回したくないと相談は受けたことはない。

問 役員負担軽減だけでなく若者層や情報発信に有効な電子回覧板を導入しては。

問 男女共同参画は、基本的な人権の尊重につながる。「あなたらしさが社会のチカラ」という認識が広がることを切望する。



高齢者支援の さらなる充実を

町長 施設料等を含め
諸々を検討する

稲永 義美
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 次に、フレイル予防について
は。

答 買い物支援と重複する部分と、
新聞配達や電気・ガス検針等を行
う際の見守り、町内会との連携
を含めた取組みを実施している。

問 3つ目、見守り支援状況は。

答 介護サービス、介護予防、日常
生活支援総合事業、民間サービ
スや地域資源を組合せて実施し
ている。

問 次に、買い物支援については。

答 「のーと志免」を5台に増車
し、高齢者に限らず全世代が利用
している。

問 現在の高齢者支援について確
認。まずは、移動手段については。

答 生徒全体の約8割に、男女平
等の意識が着実に浸透している。

問 男性優位と感じないとの回答
が一番多かったのは、やはり教
育を担われている学校教育の場。
中学生のアンケート結果は。

答 生活では約7割が男性優位と回
答。



笑顔溢れる高齢者

答 利用料金については、本年4月
1日からスポーツ協会加盟団体は
全額免除。その他団体は、昨非同
様の50%減免にて利用されている。

問 グラウンドや広場の利用状況は。

答 大きく4つの事業を実施。1つ
が、各公民館で月1度開催している
「うきうきルーム」で、様々なプロ
グラムを実施。令和7年度は延べ
3845名の参加があった。その
他3つの事業を加えた、4つを連
携させながらフレイル予防を推進。

問 ワークライフバランスのことで、
女性男性のそれぞれの取組みは。

答 30町内会のうち、6町内会が女
性の会長である。

問 女性リーダーの育成や関係団体
への支援の取組みは。

問 このルールは、子どもの行動範
囲を狭め、自主性を育む観点から
不要と思うが、撤廃する考えは。

答 一律に禁止ではなく、校区外へ
は原則大人と一緒に行動とするもの。
という「謎のルール」は何か。

町長 原則を守りながら
柔軟に対応

子どもが安全に移動
できる町へ

答 高齢者の支援が少ないと、私も
常々考えている。

問 各課の説明を聞いて、高齢者支
援対策は、十分との認識はあるか。

答 未来を担う子ど
も達の教育において、
男女共同参画推進の
必要性と、女性の意
思決定の場の共有の
必要性の展望は。

問 もっともっと継続
して、しっかりと頑
張っていききたい。

治体も参考にしていきたい。



元気に遊ぶ子どもたち

答 私議員が言われる通りだと思
う。しかし、交通事故、不審者のこ
とが懸念されるため、このルールは
目安と捉えていただければと思う。

問 親の許可があれば校区外移動も
可能ともあるが、許可証がある訳
でもなく、私には理解不能。少な
くとも町内は、「子どもが安心して
移動できる町づくり」へ、舵を取る
べきと思うが、町長の見解は。

答 事故や不審者被害に遭うリス
クがあるため、原則現行維持と考える。



男女共同参画週間ポスター



岩下 多絵 議員



こちらから一般質問の動画が視聴できます



外国籍の子ども達の教育環境は

教育長 包括的な支援体制の検討

牟田口 武史 議員



こちらから一般質問の動画が視聴できます



志免中央小学校

問 志免町在住の外国籍の人数、世帯数及び小中学校の在校生は。

答 志免町在住の外国籍の人数は1021人、世帯数は583世帯、小学生が52人、中学生は5人。

問 言語面起因する課題や学校生活における支障はないか。また、日本語支援を必要とする児童・生徒への支援体制は。

答 日常的に日本語面での困りごとや、学校生活上の支障がないか、丁寧に把握している。支援体制については、家族に日本語が理解できる者がおり、日常会話程度の理解が可能な児童・生徒については、担任や学習支援員を中心に支援を行っている。一方、日本語の個別指導を必要とする児童・生徒は計13名在籍しており、それぞれの日本語習得レベルに応じた特別な教育課程を編成、指導計画を作成し、計画的な支援を実施している。

問 日本語支援、多言語対応、地域連携を含め、今後の取り組みは。

答 日本語指導体制の充実に加え、多言語による情報提供のあり方の検討、地域の関係団体等との連携を視野に入れた、より包括的な支援体制の整備について検討を進めたい。

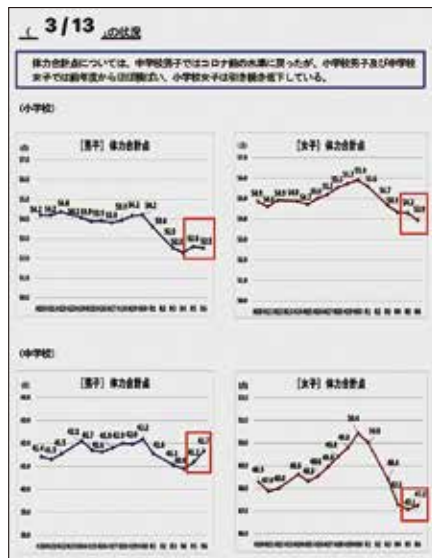
運動が苦手な子どもへの支援は

町長 何か寄り添ったきっかけづくり

問 体育授業以外での日常的運動機会の確保はどう考えているか。

答 学校では短時間でも体を動かせるよう、外遊びを推奨する期間の設定や始業前の運動場開放などに取り組み、日常的な運動機会の確保を図っている。

問 運動が苦手な児童・生徒への支援をどう考えているか。



全国体力測定の推移(文部科学省資料)

答 ペアやグループの組み方を工夫すること、できるまでの過程を小さな段階に分けて成功体験を積み重ねること、友達同士の助言を生かした学び合いを促すなどに取り組み、安心して参加できる環境づくりを図っている。

問 急速なグローバル化に伴い外国人住民も地域コミュニティの一員として共生する時代。誰もが国際理解を深め視野を広げる必要がある。隣市にて産官民一体で取組む「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の周知や積極的な活用の実績がある。なぜ継続されなかったのか。

答 当時住民主体のボランティア

問 「アジア太平洋子ども会議」の主な目的は子ども同士の国際交流、異文化理解、思いやりの心を育むこと、そして将来の国際的リーダーの育成。子ども主体の事業である

問 スクールビジット参加の検討に機会になる。積極的に活用してはブリッジサマーキャンプの小学校への周知について。

答 大変意義深い取組であると認識。実施時期等の条件踏まえ、教育的効果を十分に精査し、各学校の教育課程との整合性を図り検討する。

問 貴重な機会を創出する「アジア太平洋子ども会議」に近隣自治体である志免町が積極的に関わることについて町の見解は。

答 国際交流の観点から子ども達の成長にとっても家族にとっても素



総合計画を議会と町民で共有を

町長 最高位の計画
しっかり周知する

いねなが
たかよし
稲永隆義
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



市内の国際交流事業 積極活用を

町長 異文化理解を深める
良い機会

問 後期計画では、「子どもの健全育成を推進する」が、「子ども」の健全育成を支援する」となっているなど、「支援する」という言葉が目につくが、その意図は。

答 計画策定の段階で、町民のワークショップ、小中高校生アンケート等を実施し、多様な意見が反映できたと認識している。総合計画と総合戦略を一体的に整理することで取組の重点化や実効性の向上を図り、行政運営の指針として明確性も高めることができたと考えている。

問 第6次総合計画後期基本計画及び第3期総合戦略が、2年の歳月と2000万円以上の費用をかけて完成した。

答 私は、いいものができたと評価しているが、作った側の評価は。

問 この総合計画では、みなで未来をつくるまちという将来像のもとで、行政の役割は全てを主導するよりも、環境整備や関係者の連携促進などを通じて、それぞれの主体の取組を後押しすることにあると考えている。

答 外国籍の児童生徒が年々増加傾向。学校教育における異文化

問 子ども達の国際感覚や多様性を尊重する姿勢を育むための教育をどのように進めているか。

団体が中心に、交流事業を実施していた。しかし、ホストファミリー等、受入れ体制が困難なことや活動負担増大等の影響により解散した経緯がある。

問 基本計画はホームページに公表していると言われても、150ページ以上もあり、興味のある人しか見ていただけない状況である。

答 完成版の議会への報告が遅れてしまったことは申し訳なく、今後はより丁寧な対応に努める。

問 完成した後期計画は4月1日にホームページに公開され、議員に届いたのは5月である。我々には結果を確認する義務がある。順序が逆ではないか。

答 この総合計画では、みなで未来をつくるまちという将来像のもとで、行政の役割は全てを主導するよりも、環境整備や関係者の連携促進などを通じて、それぞれの主体の取組を後押しすることにあると考えている。

問 総合計画が行政運営になくはない理由。



こども大使と餃子作り体験

が保護者、家族も関わり、結果多くの住民が国際交流を体験できる

問 言い換えれば航海における海図のようなもので、これがないとどこに向かっているのか分からない。船に乗っている町民の方々も説明がないと分からない。

答 総合計画は町の最上位の計画であり、その進捗状況を確認して予算や政策を決めている。

問 総合計画が行政運営になくはない理由。

答 広報誌の特集において予算の使い道などと併せて分かりやすく周知するとともに、町民意識調査や行政評価を通じて、計画の進捗状況を共有していく。

問 総合計画が行政運営になくはない理由。

答 広報誌の特集において予算の使い道などと併せて分かりやすく周知するとともに、町民意識調査や行政評価を通じて、計画の進捗状況を共有していく。



ホームステイ宅にて子どもたちだけでクッキング

答 子ども大使が小・中学校を訪問し日本の子ども達と1日交流する活動は、わが町の児童生徒にとり

についての考えは。



総合計画表紙



総合計画QR

答 町が進む方向性をアピールしながら、しっかり周知していく。

ないのはあり得ないと考えるが。

ひとくちメモ
アジア太平洋こども会議・イン福岡とは
1989年に福岡市で始まった国際交流事業で、アジア太平洋地域の子どもたちを招き、ホームステイや各種交流活動を通じて相互理解と友好の促進を図ることを目的。

問 スクールビジットには町も協力いただきたい。

晴らしいこと。周知徹底をし、異文化教育に取り組んでいきたい。



総務文教常任委員会

開催日 4月24日、5月12日、6月1日



向ヶ丘歴史資料室分室



東公園台 産業遺産収蔵庫



ふれあいセンター敷地内 図書館下収蔵庫



吉原文化財整理事務所

歴史資料館は必要？ 点在する文化財施設

4か所を視察

- 4月24日は、町内に点在する文化財施設4か所を視察。収蔵保管場所（向ヶ丘、東公園台、ふれあいセンター敷地内）、文化財整理事務所（吉原）
- 5月12日は、視察結果を踏まえ、議員同士で意見交換し、豎坑槽を中心とした産業遺産を強調した歴史資料館がよいのではといった意見等が出された。歴史資料館の必要性を確認した。
- 6月1日は、令和4年3月に作成された「志免町歴史資料館（仮称）建設に関する庁内検討会議報告書」についての説明を受けた。また、令和5年6月議会から令和7年3月議会までの議事録では計12回に及び、歴史資料館設置の必要性が繰り返し議論されていることを確認した。

町長が方向性を示すと答弁

出席された町長からは、歴史資料館の整備については国の補助制度が一切なく、予算確保が最大の課題であるとの認識が示された。歴史資料館を単独で建設するのか、またはシーメイトの大規模改修に併せてミュージアム化も含めてできないのか、今後、検討して令和8年度中にできるだけ早期に、方向性を委員会へ示すとの答弁があった。





厚生建設常任委員会

開催日 5月12日、6月1日

「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取組と展望

志免町が令和4（2022）年に宣言した「2050年に二酸化炭素排出実質ゼロ」の実現に向け、5月12日、生活安全課より計画の進捗状況について説明を受け、詳細な調査を行った。行政が進める公共施設の脱炭素化と、町民・事業者の皆さまへの支援策の両面から実態の確認をした。

計画の進捗と目標達成への課題

本町の公共施設におけるCO₂（二酸化炭素）排出量は、町が契約している九州電力の排出係数の影響を大きく受けているとの報告があった。今後、中学校体育館への空調設置によりエネルギー使用量の増加が見込まれることから、目標達成に向けては、特にエネルギー消費量の多い「シーメイト」等の電力を再生可能エネルギー由来へ切り替える検討を進めるなど、新たな取組が必要であるとの認識が示された。また、行政の取組とあわせ、家庭向けには身近な脱炭素行動を支援する施策を継続・拡充していくとの説明があった。

CO₂排出量の推移と2030年度目標



横断幕（シーメイト）



子どもたちの環境作品展

てまえどい
購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ購買行動。



- これまでの主な取組
- 家庭向け支援…ECOチャレンジ応援事業（脱炭素行動へのポイント付与）、省エネ家電購入補助。
 - 食品ロス・資源化…フードドライブ、「てまえどい」の啓発、家庭からの廃食用油回収。
 - 環境啓発…シーメイトや役場への懸垂幕設置、子ども環境作品展の開催。

委員会の質疑応答

Q 再生可能エネルギー由来電力への切替は、なぜ排出量削減につながるのか？

A 再生可能エネルギー由来電力は、発電時に二酸化炭素を排出しない電源であり、排出係数を低減またはゼロにできるため、直接的な削減に寄与する。

Q 町内事業者や中小企業との連携、独自の支援策の現状は？

A 包括連携協定締結企業との協力は進んでいるが、町内中小企業との連携は今後の課題である。他自治体の事例も参考に、セミナー開催や情報提供を検討したい。町独自の省エネ支援についても今後の課題としている。

Q ECOチャレンジ事業の参加状況は？

A 参加率は糟屋地区の中でも高い水準で推移している。

委員会より

ゼロカーボンシティの実現には「行政による大規模施設での率先した取組」と「町民・事業者の皆さまへのきめ細かな支援」の連携が不可欠であることを確認した。実効性のある施策を加速させるよう要請を行った。



予算常任委員会

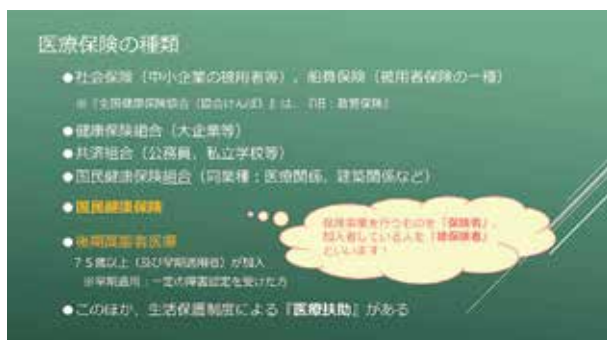
開催日
5月12日、6月2日

「特別会計」について研修会を行い、知識を習得し、議員スキルの向上をはかった。

特別会計を研修

- ・国民皆保険制度について…医療保険の種類等
- ・国民健康保険特別会計について…加入手続き、保険税の算出方法、他の医療保険との違い等
- ・各項目の用語説明や仕組み等について

* 今回の研修会資料は、今後の用語解説資料として活用することを委員会で確認した。



研修会資料

議会運営委員会

開催日
6月1日

令和8年 第3回 定例会（6月議会）

会期は6月5日から12日までの8日間とする。

一般質問は8名。また、議案付託は2議案。人事案件は農業委員会委員の任命12件が最終日に提案される。

地域経営のための議会改革度調査2025ランキング

早稲田大学デモクラシー創造研究所が実施する「議会改革度調査2025」が公表され、志免町議会の順位は、全国229位、福岡県内5位という結果だった。

クールビズ実施

議会運営に関する申し合わせの見直し、視察受け入れ対応、クールビズの実施などについて協議した。

議会広報常任委員

開催日 3月23日、24日、26日、
4月3日、13日、17日、20日

しめ議会だよりのマニュアルを見直し、改訂

議会だよりの第116号の作成に向けて、令和8年3月定例会終了後から7回の委員会を開催し、5月1日に発行した。

- 工程** 委員会1回目、2回目、3回目（入稿）
委員会4回目（チェック）1校正
委員会5回目の考察（チェック）2校正
委員会6回目（チェック）3校正
委員会7回目【最終稿】

- 表紙は、4月10日に志免中央小学校へ入学した、笑顔あふれる新一年生の写真を採用した。
- 3月定例会で審査した令和8年度当初予算を6ページにわたり特集し、今回も「当初予算及び町政運営」をテーマに、町長と議長による対談記事を掲載した。
- 6月2日に開催した広報委員会では、「しめ議会だよりの記事の訂正や誤りを無くすため、広報マニュアルの内容を見直し、改訂を行った。

シーメイト調査研究特別委員会

開催日
5月12日、6月2日

令和8年7月中旬に提言書を提出することに決定

今までの委員会審査を踏まえ、提言書（素案）について、各委員へ意見を求めると共に、修正箇所の確認を2回実施。

修正等を加えた提言書（素案）の確定版の最終確認を全委員でおこない、令和8年7月中旬に提出することを決定。



シーメイト・堅坑槽と共に





議会改革特別委員会

開催日 4月3日、5月12日、6月2日

志免町議と語る会

4月18日に「志免町議と語る会 ～改革の軌跡～」を開催し、議会改革の取り組みや各委員会の活動を報告した後、テーマである「志免町議会について」65名の参加者と意見交換を行った。各グループで活発な意見が交わされ有意義な語る会となった。

また、アンケートでは「議員になりたい」と回答した方が8名いた一方、議員になりたくないとの意見には「仕事や家庭との両立」「議員報酬」への不安や課題も多く寄せられた。また、「どのような環境であれば議員に挑戦しやすいと思いますか」という問いに対しては、「議員報酬の見直し」を求める意見が多く見られた。

今後も開かれた議会を目指し、町民の皆さまとの対話を大切にしながら議会活動に取り組んでいく。



進行役の議員



ワークショップの様子



葉山町議会の皆さまと



寒川町視察研修の様子

視察研修

4月27日に葉山町議会、28日に寒川町議会を視察し、議員報酬の考え方や通年議会、住民との意見交換、主権者教育など先進的な議会改革の取組について研修を行った。

両議会の事例から、議会活動の見える化や住民参加の推進、政策形成機能の強化について多くの示唆を得た。

今後の委員会の取組み

語る会でいただいたご意見や視察で得た知見を踏まえ、今後の委員会活動では、議員報酬に関する専門的知見の活用、通年議会の導入検討、イベント等を活用した広聴機能の強化、議会広報・情報発信の強化を重点的に進める。

- 葉山町議会及び寒川町議会で導入されている通年議会については、議会の機動性や自律性の向上につながる制度として、志免町議会における導入の可能性について調査研究を進めていく。
- オープントークカフェやイベントを活用した広聴活動など町民の皆さまの声をより幅広く伺うことができる仕組みづくりについて検討していく。
- 議会広報や情報発信についても、議会活動をより身近に感じていただけるような広報ツールや情報発信の充実について研究を進め、議会活動の見える化と町民理解の向上に努めていく。

議会改革委員長報告





政務活動費を公表します

令和7年度(4月～3月)分 政務活動費 どう使ったか公表します



政務活動費って何？

議員が行う、**まちの課題解決のための調査研究**、**議員力を高めるための活動**を行うために、志免町より議員一人に対して月額2万円が交付されるものです。



お金は適正に使われている？

志免町議会では、申告書類及び1円からの領収書が必要で、不用額(未使用の額)はすべて町に返還されます。



令和7年度の主な使いみち

研究研修(一部)

- ・輝け！ 議会対話による地方議会活性化
- ・第1回 市町村長等・議会議員特別セミナー
- ・市町村議会議員研修「社会保障・社会福祉」
- ・市町村議会議員研修「防災と議員の役割」
- ・市町村議会議員研修「人口減少における地域の課題」
- ・議会・議員の未来、治水・防災減災の未来、地域福祉の未来(認知症・介護)
- ・人口減少特別フォーラム「自治体経営の真実×議会質問の極意―副市長だから語れる裏側」
- ・新人議員基礎研修「初動で決まる信と影響力、予算決算を読み解く、議員力を上げる！ 政策立案と影響力、影響力のある議員になる議会制度の知識」

その他

- ・資料作成費(機器、インク、用紙、文具類等)
- ・資料購入費(政治活動に必要な新聞や資料等)
- ・広報費(SNSや活動報告紙作成)



令和7年度(4月～3月)政務活動費報告

*条例に基づく交付限度額は24万円です。

(円)

荒牧 裕樹	53,530	稲永 義美	106,590	佐藤 貴士	136,262
野中 秀樹	154,000	安河内 祐子	203,299	稲永 隆義	240,000
岩下 多絵	240,000	小森 弘美	240,000	藤瀬 康司	207,091
丸山 卓嗣	240,000	牟田口 武史	176,004	丸山 真智子	240,000
大西 勇	240,000				

これからも、議員一同志免町のために研鑽を重ねてまいります！



詳細は
ホームページで
ご覧ください





議長活動報告



議長
丸山 卓嗣

議長活動報告

令和8年3月～令和8年5月

日 程	件 名
3月 7日	水鉛公民館竣工式
8日	文化協会芸能祭
13日	中学校卒業式
17日	小学校卒業式
30日	糟屋郡5町ブロック廃棄物対策協議会
4月 3日	宇美町志免町衛生施設組合議会
5日	志免町消防団交替式
9日	中学校入学式
10日	小学校入学式
22日	糟屋地区議長会
22日	スポーツ協会総会(副議長代理出席)

6月議会を振り返って

6月定例会が閉会いたしました。

これまで議会改革の一環として、「開かれた議会」を目指し、適正でスマートな議会運営に取り組んでまいりました。今議会では特に、一般質問や委員会での質疑・答弁のあり方に着目しておりました。

議会でのやり取りは、当事者同士だけでなく、町民の皆さまをはじめ、議会を見聞さする方々にも分かりやすく伝わるのが大切です。そのため、今議会終了後には、議会と執行部双方で、より明確で分かりやすい質問と適切な答弁の重要性を改めて確認いたしました。

今後も「何を聞き、何を答えているのか」が誰にでも、分かりやすく伝わる開かれた議会運営に努めてまいります。

日 程	件 名
4月 24日	シニアクラブ連合会総会
26日	文化協会総会
5月 11日	粕屋南部消防組合議会
12日	粕屋南部消防組合救助技術展示訓練
16日	町内中学校体育会
20日	県町村議長会役員視察研修(20～21日)
22日	志免町商工会総代会
23日	町内小学校運動会
25日	全国議長会研修(25～26日)
27日	シルバー人材センター設立20周年記念式典
29日	志免町町内会連合会役員会歓迎会

議員研修報告

テーマ どう創る？ 開かれた議会

講師 ●北海道 鷹栖町議会議員 青野 敏氏
●北海道 登別市議会前議長 辻ひろし氏

ワークショップ

ファシリテーター：輝け！ 副代表 川崎 英彦氏

日時・会場 令和8年5月16日(土)
サンレイクさすや(粕屋町)

鷹栖町議会や登別市議会における議会広聴・広報の先進的な取組について講話を受けるとともに、ワークショップでは参加者同士で意見交換を行いました。研修で得た知見を、今後の議会改革や議会広報の充実に役立てていきます。

参加議員 丸山(真)、牟田口、岩下、安河内、佐藤、荒牧

テーマ 令和8年度 第1回 市町村等・議会議員特別セミナー

講師 鹿児島県日置市 市長 永山 由高氏 他3名

日時・会場 4月20日～21日
全国市町村国際文化研修所

各分野で活躍中の講師より、改めて現代社会を捉え直すとともに、今後のわがまちの未来や地方行政に求められる役割について多角的に学びました。特に、人口5万人以下都市、日置市の対話と挑戦で切り拓いた市長の未来戦略は、今後の議員活動に活かしていきたいと思いました。

参加議員 丸山(真)・小森



職員の皆さま



シーメイト
なかよしパークで
かき氷、ピザ
など販売中



たてこう房レガロ

志免町シルバー人材センターの現状

会員数は6月22日現在247名(男性144名、女性103名)。最高で400名近くの会員が在籍していたころから比べると約6割に減少している。

主な要因としては、定年延長や定年後の再雇用により、退職時年齢が高齢化してきていること。そのため、入会時の年齢が70代半ばの方が多。会員の平均年齢は年々上がり、令和7年度末で78.3才となっている。加齢や病気を理由に退会していく会員はなかなか下げ止まらない。

課題について

- 会員数の減少に歯止めをかけ、会員数を増やしていくこと。会員が増えれば請け負える仕事の種類も増え、それによりさらに会員が増えるという好循環を生み出していきたい。

- 高齢により、体を動かす作業をすることが難しくなった会員でもできるような仕事を創出できないか。
- 女性会員数の拡大は全国的な目標でもある。女性が就業しやすい仕事の種類を増やせないか。

今後の展望について

全国シルバー人材センター事業協会が行った調査研究により、シルバー人材センターでの就業がフレイルの発生に抑制効果があることが立証された。シルバー人材センターでの就業が医療費抑制や介護予防に効果があるということで、その存在意義がより高まっていくと思われる。

会員が安心して就業できる環境作りだけではなく、シルバー人材センターはこんなこともできるのかという良い意味で驚かせることができるようなことに取り組んでいきたい。

議会や町に期待すること

志免町シルバー人材センターの事業実績の約7割が志免町からの受注によるものです。今後もシルバー人材センター事業にご理解を賜り、情報交換を密にして、シルバー人材センターの発展につながるような施策の提案をしていただけたらと思っています。

また、介護予防・日常生活支援総合事業による家事支援サービスの受注件数が年々減ってきていますが、サービス利用者を対象としたアンケートでは仕事ぶりを高く評価していただけており、新規の発注をお願いしたいと思っています。

議会より

人生100年時代、シルバー人材センターでの就業が、フレイル予防になり介護予防や医療費抑制につながっていますので、会員を増やすことや就業先の拡大に力を入れていただきと思います。議会としても支援してまいります。

編集後記

広報委員として2年間、町民の皆さまに「伝わる」紙面を目指し、試行錯誤を重ねてきました。視察で得た各地の知見を町政に反映し、「きっと志免は今より面白くなる」という想いをカタチにするため、広報の力で皆さまと議会を繋ぐ架け橋となり、全力で走り抜けます。

野中 秀樹

議会広報常任委員会

委員長	荒牧 裕樹		
副委員長	小森 弘美		
委員	丸山 真智子	野中 秀樹	
	藤瀬 康司	佐藤 貴士	
	安河内 祐子	稲永 義美	

発行責任者 議長 丸山 卓嗣

Instagram



Facebook



YouTube



議会の情報を
発信中!



お詫びと訂正

議会だより116号において、P11の「保険税率改正」の金額について誤りがございました。お詫び申し上げます。

訂正内容	【誤】均等割 1万円	→	【正】千円
	【誤】平等割 1万5千円	→	【正】千5百円

お知らせ お気軽に傍聴にお越しください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070
メールアドレス gikai@town.shime.lg.jp

次回の
定例会は 9月4日予定
議会事務局は町役場4階です。